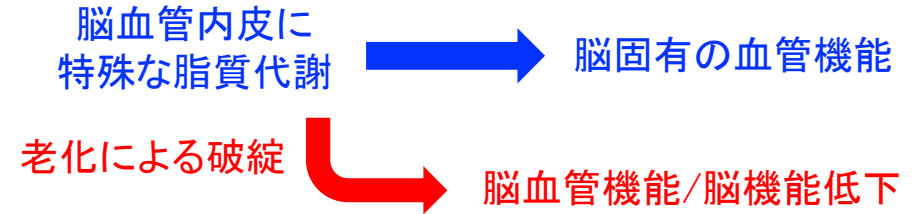


# 脂質特殊性から迫る老化による脳血管機能低下のメカニズム

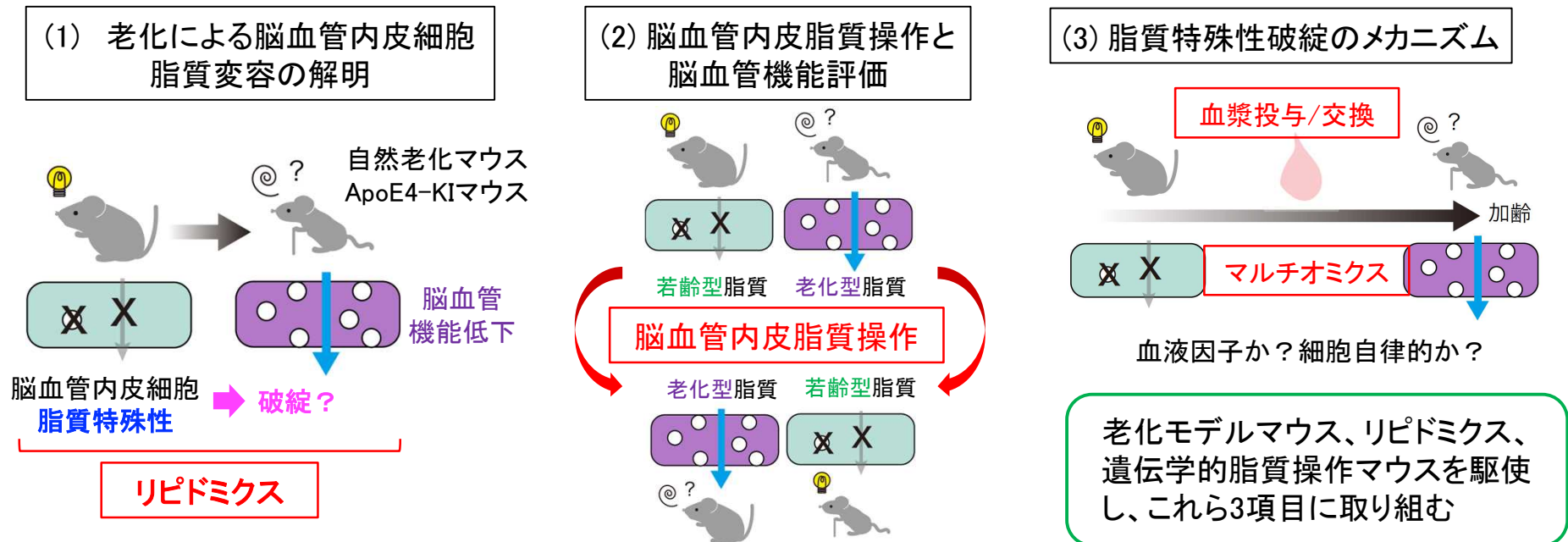
(柳田 圭介/国立国際医療研究センター)

## 背景

脳固有の血管機能は老化により低下し、認知症などの脳機能低下の背景となるがそのメカニズムはほとんど分かっていない。本研究では、脳血管内皮細胞が特徴的な脂質組成や代謝機構を有することに着目し、この「脂質特殊性」の破綻が老化による脳固有の血管機能の喪失につながる可能性を探る。



## 目的方法



## 基礎的到達

「脳血管内皮脂質特殊性が老化によりいかに破綻するか」  
「その破綻が脳血管機能や認知機能にどう影響するか」



「脂質特殊性」の破綻が老化や認知症における脳血管機能喪失のトリガーとなることの証明

## 医療への展開

創薬や栄養学的介入による脳血管の脂質正常化 (lipid normalization) により、老化に伴う脳血管・認知機能低下を回復・遅延させる予防・治療法の開発

脳血管老化評価や認知症リスクの新規マーカー同定